

時 間 : 2014 年 2 月 15 日 (六) 上午 10 : 00—12 : 00
 地 點 : 台北市 YMCA 城中會所 008 室(台北市許昌街 19 號)
 發表者① : 甲斐 雄一郎 (筑波大學教授)、秋田 哲郎 (筑波大學付屬中學校教諭)
 題 目 : 古典理解の枠組みについて
 評 論 人 : 吉田 妙子 (政治大學教授)
 發表者② : 荒井 智子 (銘傳大學助理教授)
 題 目 : 会話クラスでの学習者の自己調整学習について
 評 論 人 : 羅 曉勤 (銘傳大學副教授)

一、第 302 次例會發表摘要

發表者① : 工藤 節子 (東海大學助理教授)、石川 奈奈恵 (東海大學碩士生)

題目 : 新聞記事の発表に至る準備に必要な指導—教師と T A の振り返りを通して—

摘要 : 本発表は、日本語の新聞記事の発表ができることを目指した授業の発表準備の過程で、めざすべき行動をどのように伝え、どのような準備をさせたら効果的な発表ができるのか、を明らかにすることを目的とする。本発表では、工藤が担当する 2012 年 2 学期の新聞読解の授業の T A 石川にお願いをした発表準備で、教師がどのような指示をだし、T A がどのような行動をとったのか、それが授業にどのように生かされたのかについて、教師と T A の共同のふりかえりにより、新聞記事発表準備における効果的な指導のポイントを明らかにする。教師と T A の共同の振り返りにより、発表準備では①記事の概要を言わせ、その把握状況に応じて背景の論点を解説したり、キーワードの意味についてさらなる調べを促す、②必要に応じて内容について質問をしたり T A が自分の経験や意見を言うことで、学生が概要をまとめるのを言語的に助ける、③ PPT に入れ込む文字量やシートの順番とデザインをアドバイスする、等の指示を出す他、その場でインターネットも使い作業をさせるという行動が効果的な役割を果たしたことが明らかになった。これらは、授業終了後、6 名の学生から T A のどのような助けが発表準備に役立ったかを聞いた際にも確認された項目である。

發表者② : 王 天保 (淡江大學助理教授)

題目 : 動詞「凝る」と中国語の「凝」について

摘要 : 日本語には、(1) (2) の「凝る」の用法がよく見られる。

- (1) 肩が凝る。
- (2) 服装に凝る。
- (3) 最近パチンコに凝るようになった。

(1) は肩の筋肉が張るという意味である。(2) 服を工夫すると表すが、(3) はパチンコに熱中することを意味する。次の (4) (5) と比べると、(1) (2) (3) はいずれも「凝固」という現象と無関係のようで、比較的抽象的な表現と考えられる。

- (4) だんだん露が凝って霜になる時節なので、余裕のあるものは、もう今時分から手廻しをするのだと気がついた。
(『門』夏目漱石 1910)

- (5) 湯気ならば、空に凝って雲ともなり。
(『多情仙心』里見 1922)

使用数が少なくても、文学作品に現れる (4) のような「液体など寄り固まって一体となる」及び、(5) 「ばらばらのものが集まって固まる」の意を表す「凝る」もある。(4) (5) はいずれも視覚を通して認知できる「凝固」「凝結」といった物理現象を言葉で表すもので、これら用法の「凝る」はより具体性があると考えられる。現代日本語において、(1) (2) (3) は (4) (5) より使用数が遥かに多く、すなわち「凝る」といえば、(1) (2) (3) の方が中心的な意味とされている。しかし (4) (5) は (1) (2) (3) の拡張例であることは考えにくく、つまり抽象な物事を具体物を用いて捉えるという認知能力に基づけば、逆の拡張ルートが考えられる。本発表は (1) から (5) までの「凝る」に関する用法の関連性を探りつつ、その意味拡張のルートについて論じたい。

また (4) (5) を中国語に訳せば、「凝る」はそれぞれ「凝結」「凝聚」に当たる。これに対し、(1) (2) (3) は中国語の「凝」に対応せず、「僵硬酸痛」「講究」「沉迷」などの表現に訳さなければならない。この現象から、中国語の「凝」の意味は狭く、抽象度が高い意味では使用されることが推測される。本発表では日本語の「凝る」のみならず、中国語の「凝」についても検討したい。

二、會務報告 (2013 年 12 月 26 日—2014 年 1 月 20 日)

1. 迎接農曆新年之際，曾秋桂理事長帶領第 16 屆理監事、秘書處同仁，跟各位會員拜個早年：恭賀新禧。期望 2014 年度各位會員仍能繼續支持學會活動並隨時不吝賜教。
2. 感激各位會員的踴躍支持與淡江大學日文系馬耀輝主任領軍的團隊協助，2013 年度年底大會圓滿成功落幕。
3. 2013 年度會員大會通過 1. 追認本會 101 年度收支決算表 2. 通過 103 年度九項工作事宜。
4. 會計林青樺理事已於 2014 年 1 月 15 日完成 2013 年度經費決算，由施信余秘書長彙整相關資料，再由曾秋桂理事長確認後，於 2014 年 1 月 17 日向主管單位內政部回報 2013 年度工作內容。

- 5.由施信余秘書長以及黃如萍秘書長負責相關業務，並由落合由治理事做最後的彙整，於1月20請示交流協會文化室長谷川理惠小姐之後，委請交流協會協助向日本國際交流基金繳交報告申請之經費核銷事宜。
- 6.最新學報34期已於出刊2013年12月出刊，感謝致良出版社艾天喜社長、陳美怡主編、龍穎慧編輯的支援。2013年度年底大會當天未領取學報的會員，劉于涵助理將於2月底左右彙整資料完成寄送。地址有變動之會員，煩請與秘書處連絡。若有特別需求或問題者，歡迎與秘書處聯絡。
- 7.「台灣日本語文學報」35期自即日起至**2014年2月28日(必達)**公開徵稿，詳細徵稿章則請見本學會網頁：<http://taiwannichigo.greater.jp/toukou1.htm>。
- 8.「2014年台灣日本語文學國際學術研討會」將邀請川村湊(法政大學教授)、金子元久(筑波大學教授)兩位學者專家蒞臨演講，敬請期待。
- 9.「2014年台灣日本語文學國際學術研討會」自即日起至**2014年3月5日(必達)**公開徵稿，詳細徵稿章則請見本學會網頁：<http://taiwannichigo.greater.jp/toukou1.htm>。
- 10.預定於2014年3月8日中午1200-1400假「喫茶趣」(中山店)召開第十六屆第六次理監事會議與第十六屆第五次學報編輯委員會議。
- 11.目前學報23期至34期中刊登之各篇論文已經完成DOI系統註冊，並於華藝線上圖書館中公開。會員可以進入<http://www.airitilibrary.com/Publication/PublicationIndex?PublicationID=1727>瀏覽。感謝致良出版社龍穎慧小姐負責幫忙建構。而學報第1期至22期(僅以紙本方式出刊)上之各篇論文，也正陸續註冊DOI中。尚未回覆授權書者，請盡速回寄授權書或洽秘書處。未收到回覆者，將以空白方式略過。敬請會員把握自身權益，盡速回寄著作權授權書。**※若遺失著作授權書，請自行從學會網頁上下載著作授權書格式。※**
- 12.自2013年8月起沿用電子郵件寄送會訊方式，然而常因不明原因無法寄發或退件。敬請會員包涵見諒。會訊電子化之過渡時期，敬請會員確認垃圾信箱或煩請利用本學會網站查詢相關資訊。若無法定期收到會訊之會員，承蒙諸位會員不吝指教，提供秘書處檢討改進，以克服伺服器技術上難題。
- 13.為提升本學會網頁使用便利性以及對學會會員們的服務品質，承蒙厚意，在落合由治理事傾力協助之下新網頁架設完成，敬請會員們今後多加支持利用。台灣日本語文學會：<http://taiwannichigo.greater.jp/>。
- 14.為了更加緊密聯繫學會活動與日語相關人士，負責管理本學會網頁工作之落合由治理事努力下，本會在Facebook開設了粉絲團:台灣日本語文學會跨校日語社群 Facebook Page: <https://www.facebook.com/Taiwannichigosyagun2013?fref=ts>，只要按「讚(いいね)」加入，將會傳送給會員們最新消息，也歡迎會員們在粉絲團宣傳或分享各大學的各項日語相關活動，期能透過強化網路宣傳活動，提高社會對日語教育的關心程度。
- 15.本學會於2013年1月4日接獲本學會出版之學報獲評「100年度人文及社會科學學術期刊評比」為：「97年至99年出版之期刊，獲得學術品質之認可」之審定證明書。此榮耀歸功於會員們長年的團結努力與理監事的無償付出。詳情請參閱<http://www.nsc.gov.tw/hum/public/Data/31911312971.pdf>。
- 16.本學報為THCI期刊，且於國科會「2009年文學二(外國文學)學門期刊評比」中，被評比為「推薦期刊」。請參閱<http://www.nsc.gov.tw/hum/lp.asp?ctNode=1144&CtUnit=813&BaseDSD=7>。
- 17.竭誠歡迎各位會員報名登記例會研究發表，意者請賜知大名、所屬單位、職稱、發表論文題目、通訊方式(含電話、手機、電子信箱帳號等)向施信余秘書長(e-mail: shihsinu@gmail.com)登記。各場次發表由秘書長代為安排適當評論人。發表者請於發表前一個月的20日之前將簡歷及發表大綱(500字以內)、資料(A4版)以電子郵件附件方式告知本會秘書處。一經受理報名而未依規定於期限內繳交資料或屢次聯絡未獲善意回應者，依本會規定視同放棄發表機會。各例會發表者，請事先自行備妥發表大綱35份，攜帶至會場發放，費用自理。發表當日若不敷使用，則由本會負責補足。有電腦相關設備需求者，請於一週前提出，以利準備。

三、年費

- 1.本會各項活動費用均由各會員所繳納之會費支付。2012、2013、2014年度會費(個人會員1000元，團體會員3000元)，尚未繳納者請儘速繳交。新入會員必須另外繳交入會費(個人1000元，團體3000元)，請於例會時交給會計林青樺理事，或利用郵政劃撥「17007419 台灣日本語文學會」帳戶繳費，經確認即為入會，如需開立正式收據者，請於例會會場索取。
- 2.**本會會員連續兩年未繳交年費者將自動喪失會員資格，請各位會員自行注意繳費情形。**依本會組織章程第27條規定，本會計年度自元月1日起至12月31日止。如有任何繳費疑問，請洽擔任會計工作林青樺理事(e-mail: linseika@mail.tku.edu.tw)
- 3.永久會員、2012、2013、2014年度已繳交年度會費者如下(至2014年1月15日)。

永久會員

蔡○芳、陳○娟、陳○輝、陳○福、陳○紅、藤井○津枝、賴源○泉、李○容、李○松、楊○淑、鄭郭○娥、芳賀○、黃○堂、鄭○婷、邱○金、陳○玉、新井○子、孫○華、周○樟、真武○、邱○玲、邱○山、賴○雀、山口○、米山○一、黃○正、王○青、戶田○幸、范○文、馮○珠、吳○瑜、蔡○琪、張○環、谷光○彥、艾○喜、王○涓、林○煌、賴○南、吳○真、黃○容、服部○貴、吳○虹、盧○珠、陳○貞、黃○珍、高○玲、釋依○法師、曾○桂、落合○治、楊○昌、蘇○保、王○和、佐伯○代、黃○燕、許○珮、黃○涵、楊○菁、陳○芬、林○雄、林○惠、許○聰、賴○宏、林○芬、李○禧、黃○瑩、陳○玲、蔡○興、下平○久、工藤○子、齋藤○志、小林○紀、程○文、許○瑞、蔡○芸、泉○生、松金○正、蔡○豐、江○薰、鄭○瑜、黃○妙、彭○陽、森安○子、陳○敏、阮○雅、王○珍、楊○媚、林○萍、藤井○美子、廖○娟、陳○珍、陳○昌、濱屋○子、羅○娟、鍾○儒、林○璋、黃○哲、蔡○雀、簡○真、林○河、呂○莉、陳○姿、黃○玲、賴○莊、王○心、吳○惠、田中○也、櫻井○、小俣○久雄、黃○萍、林○樺、黃○慧、黃○雯、楊○芳、邱○瑾、陳○伶、林○伶、陳○君、黃○玲

2012 年繳交年度會費者如下:

今福○次、內田○、王○玲、簡○花、神作○一、北林○治、菊島○紀、顧○芬、吳○風、吳○芬、吳○芳、吳○芳、近藤○子、齊藤○子、齊藤○夫、佐藤○子、蔡○杰、蔡○菁、施○余、孫○維、翟○翎、張○玲、張○強、張○惠、陳○安、陳○娟、陳○菁、陳○益、陳○州、陳○敏、陳○哲、陳○心、沈○雪、覃○勇、都通○三朗、鄭○禎、戶田○康、中島○明、中村○子、堀越○男、本間○穗、封○宜、村中○摘、山下○昭、楊○烈、楊○燁、吉田○子、羅○立、羅○勤、李○禾、李○煌、李○清、李○樺、李○雲、李○茹、劉○輝、劉○婷、梁○嫻、廖○淑、廖○卿(預付 1,000 元)、林○雯、林○星、林○君、鄭○惠(新)、郭○蘭(新)、張○智(新)、闕○華、李○芳、黃○娥、北見○弘(新)、謝○宋、閔○口○、山本○司(預付 1,000 元)、蔡○靜(預付 1,000 元)、武藤○子(預付 5,000 圓)、尾崎○(預付 1,000 元)、葉○華、楊○雲、廖○彬、陳○文、周○升、曾○婷、張○禎(預付 1000 元)、蔡○琪、山田○、溫○珺、林○靖、周○升、王○東、吳○樺、魏○珍、黃○業、董○敬、莊○慧、張○婷、武田○人、楊○勳、加賀○常美代、守谷○美、楊○雯、川合○惠、德光○展(預付 4,000 元)、下岡○加(新、預付 1,000 元)、內野○香(預付 1,000 元)、陳○瑋、謝○文、林○煌(預付 1,000 元)、中村○苗、潘○瑩、呂○盈(新)、長安○美、徐○玲(新)、賴○喬、本橋○子、洪○怡、林○美、葉○鰲(預付 1,000 元)、施○惠、上辻○治、郭○尹、王○、佐野○、王○陽、徐○美、梁○水、櫻井○代子、程○涵(新)、李○辛、張○敏(新)、黃○瑋、深尾○、加藤○二、李○芝、劉○涵、河尻○也、張○伎、傅○香、陳○瑩(預付 1,000 元)、越野○子、王○臨、葉○、伊藤○彥、平岩○子(新)、長友○彥、蘇○郎、蔡○杰、謝○齡(新)、李○麗、廣野○子(新)、李○宏(新)、永井○之(新)、張○娥(預付 1,000 元)、北嶋○(預付 1,000 元)、賴○菁、花城○裕(預付 1,000 元)、李○聰(新)、劉○正、劉○慈、王○婷、段○行、黃○堂、山內○幸、田○民、馬○輝、陳○瑤、荒井○子、住田○郎(新)、許○敏、黃○素、岡部○日香、劉○禎、劉○伶、郭○芳、王○琴、山藤○郎、蔡○青、郭○儀

2013 年繳交年度會費者如下:

何○宜、本間○穗、菊島○紀、李○雲、內○康、川合○惠、羅○勤、北林○治、中島○明、陳○安、林○雯、謝○宋、張○玲、山下○明、田○民、施○余、顧○芬、徐○伶、葉○華、陳○菁、郭○蘭、呂○盈、廖○淑、林○星、沈○雪、曾○婷、堀越○男、長谷川○惠(新)、洪○君(新)、陳○瑤、魏○珍、鄭○惠、楊○雲、陳○州、蔡○菁、林○君、吉田○子、佐藤○子、覃○勇、金○容(新)、戶田○康、王○保(新)、簡○花、齊藤○夫、齊藤○子、李○清、吳○宏(新)、廣野○子、廖○彬、劉○輝、陳○敏、尾崎○、黃○業、張○珊(新)、廖○卿、山本○司、蔡○靜、武藤○子、張○禎、德光○展、下岡○加、內野○香、林○煌、葉○鰲、陳○瑩、張○娥、北嶋○、花城○裕、武田○人、李○禾、闕○華、岡部○日香、劉○禎、陳○瑋、黃○素、今福○次、王○臨、李○芝、梁○水、神作○一、劉○伶、羅○立、吳○芳、王○東、長安○美、郭○尹、佐野○、張○婷、高井○生、郭○芳、王○琴、周○升、陳○文、中村○苗、吳○芬、村中○摘、山藤○郎、施○惠、李○辛、孫○維、謝○文、張○強、龜井○郎、小辻○々子、張○侑、黃○素、張○樺、本橋○子、劉○涵、榊○一(新)、劉○禎、王○婷、潘○瑩、賴○菁、上辻○治、黃○瑋、傅○香、王○玲、陳○瑩、李○芳、中澤○亮(新)、董○敬、陳○益、黃○暉、深尾○、山田○、渡部○、蔡○青、伊藤○彥、住田○郎、長友○彥、菊島○紀、郭○儀、河尻○也、段○行、黃○堂、中村○子、李○煌、山內○幸、近藤○子、鄭○禎、李○宏、陳○娟、馬○輝、劉○正、花城○裕、陳○心

2014 年繳交年度會費者如下:

何○宜(預付 1,000 元)、郭○蘭、尾崎○、武藤○子、德光○展(預付 2,000 元)、周○升、張○樺(預付 1,000 元)、上辻○治、傅○香、王○玲、陳○瑩(預付 1,000 元)、黃○暉、山田○、渡部○(預付 2,000 元)、王○雲(新)、下岡○加、近藤○子、鄭○禎、李○宏、陳○娟、覃○勇、陳○安、陳○敏、內○康、董○敬、吉田○子、戶田○康、簡○花、李○清、林○星、住田○郎、蔡○菁、張○珊、林○君、李○禾、劉○伶、長谷川○惠、神作○一、龜井○朗、陳○菁、廖○彬、陳○州、廖○淑、魏○珍、堀越○男、孫○維、中島○明、沈○雪、廖○卿、佐藤○子、北林○治、榊○一、山藤○郎、山下○昭、張○玲、林○雯、陳○益、田○民、鄭○惠、李○雲、郭○芳、顧○芬、羅○勤、施○余、闕○華、劉○輝、李○茹、陳○懌(新)、王○文(新)、磐村○乃(新)、葉○萱(新)、池田○子(新)、陳○心、王○雲、黃○業、蔡○吟(新)

2013 年樂捐芳名:(至 2014 年 1 月 15 日)

小林由紀 1,000 元、賴錦雀 2,000 元、馬耀輝 1,000 元(2013 年底大會專用)、北林利治 10,000 日幣、曾秋桂 1,000 元(2013 年底大會專用)、盧明姬 2,000 元(2013 年底大會專用)、落合由治 13,000 元(2013 年底大會專用)、

四、學報・藏書

1. 已出版的論文集第 1~19 期已經絕版、第 20、21、22 期尚有餘書。第 20 期起，會員一本 200 元非會員一本 500 元。自 23 期起學報以光碟方式呈現，會員一片 100 元，非會員一片 200 元。有意購買者請利用郵政劃撥「17007419 台灣日本語文學會」帳戶郵購(另加每本/片掛號處理費 50 元)。
2. 國內外各交流單位所贈圖書均置於本學會專用書架(臺北市南京西路 12 巷 9 號 6 樓致良出版社)。有意洽詢之會員，歡迎與艾天喜社長連絡(TEL: 2571-0558 / FAX: 2523-1891)。感謝艾社長自本學會成立以來，熱心支持本學會的運作。

五、【演講・研討會・藝文活動資訊】

1. J-GAP Taiwan 將於 2014 年 2 月 8 日(週六)假台中科技大學舉辦第 21 次月例會活動，主題為「日本語教育におけるソーシャルネットワークを学ぶ」，講師為當作靖彦教授。詳情請見台灣日語教育學會網頁。
2. 銘傳大學應用日語學系將於 2014 年 3 月 14 日(週五)假桃園校區舉辦「銘傳大學 2014 國際學術研討會應用日語教育的理論與實踐」，歡迎蒞臨參加。
3. 東吳大學外國語文學院將於 2014 年 3 月 15 日(週六)假外雙溪校區舉辦「建院三十週年慶暨 2014 年語言、文學與文化校際學術研討會」，歡迎共襄盛舉。
4. 大葉大學應用日語學系將於 2014 年 3 月 22 日(週六)舉辦 2014 年「日語的研究・教學・運用」國際學術研討會。相關資訊請

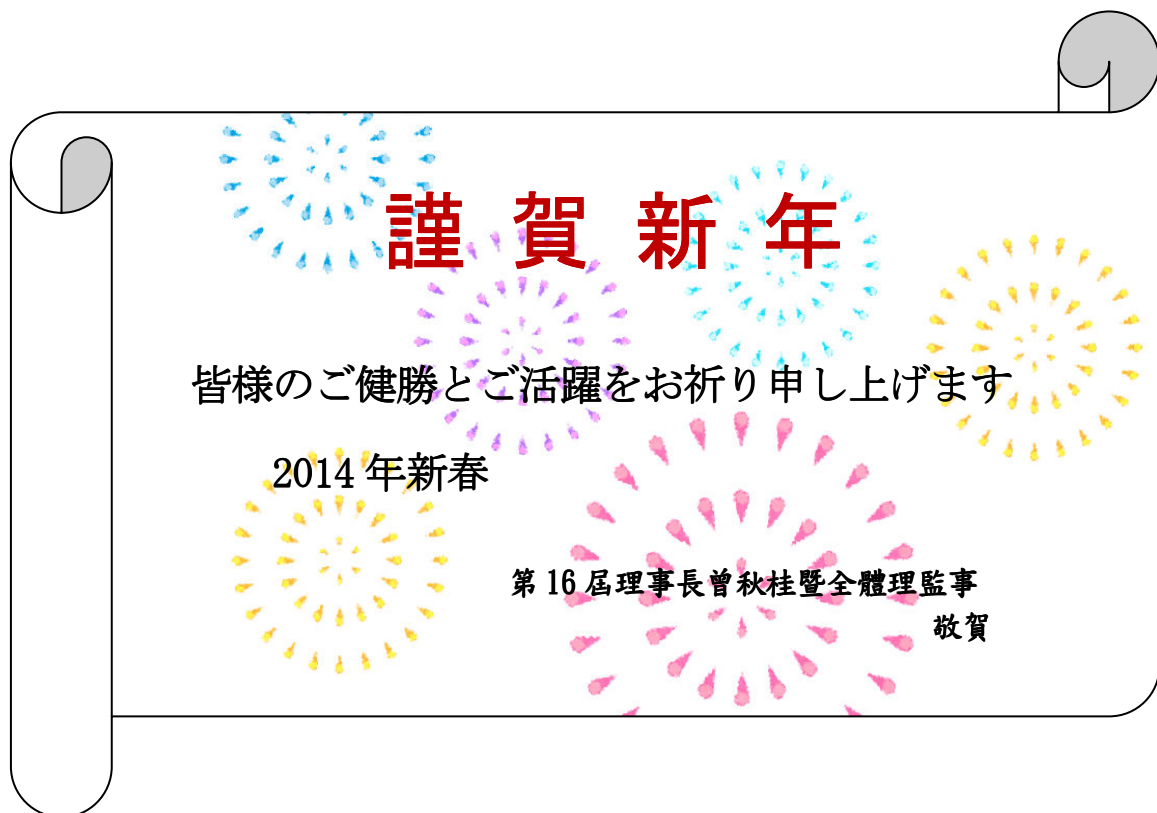
至系網站查閱。

5. 東吳大學日文系將於 2014 年 5 月 3 日(週六)假外雙溪校區舉辦「2014 年日語教育國際會議」，歡迎共襄盛舉。
6. 中國文化大學日文系將於 2014 年 5 月 10 日(週六)舉辦「2014 年國際學術研討會議—〈學際的複合領域研究〉としての日本語教育学—」，歡迎共襄盛舉。
7. 淡江大學日文系「村上春樹研究室」將於 2014 年 6 月 21 日(週六)假淡水校園舉辦「第 3 屆村上春樹國際學術研討會」，主題為「村上春樹文學中之「媒介」(村上春樹文学におけるメディアム)」，歡迎共襄盛舉。
8. 2014 年世界日語教育國際研究大會預訂於 2014 年 7 月 10-12 日於澳洲舉辦。研究發表報名期限至 2014 年 2 月 15 日(週六)。詳情請洽主辦單位 icjlesydney@gmail.com 或瀏覽日本語教育學會網頁。

六、本學會例會・演講會

1. 請各位會員繼續踴躍報名本學會例會發表會。例會發表以 2 場為原則。報名請洽本會施信余祕書長：shihshinyu@gmail.com，手機 0933-888-191。例會地點：台北市 YMCA 城中會所(台北市許昌街 19 號) 008 教室。
2. 2014 年例會發表、講演預定表如下：

日 期	發 表 者	題 目	地 點
2014/3/15	①蔡 珮菁 (文化大學助理教授) ②山口 薰 (南山大學准教授)	① ②	008
2014/4/19	①金 想容 (輔仁大學兼任助理教授) ②	① ②	008
2014/5/17	①黃 金堂 (文化大學助理教授) ②	① ②	008
2014/6/21	①郭 毓芳 (逢甲大學助理教授) ②	① ②	008
2014/7/19	① ②	① ②	008



本學會會址：
台灣日本語文學會
25137 新北市淡水區英專路 151 號 淡江大學日本語文學系
連絡電話 02-26215656 分機 2958 或 2963